

**新たなものづくりをする前に、  
まずは今あるものを活用し、その上で必要なものを整える。  
限られた財政を、女性の視点でスリム化。  
かつ行き届いた環境を行政と地域で作ります。**



## 1 子育て支援情報を整備し、 必要な人・家庭にダイレクトに届けたい

木更津市には、一時保育など子育て支援事業がいろいろあります。子どもの成長に合わせ、いざ困った時にも使える子育て支援情報を束ねた、子育て支援ハンドブック（乳幼児編・小学生編・思春期編）を作成し、出産時、転入時、入学時（小学校・中学校）に配布します。また、ホームページをもっと利用しやすくします。



保育園にて  
手作りシアター

## 2 教育環境を整えたい

学力の二極化が問題にされています。障がいがあってもなくてもきめ細やかな対応をすることで、落ち着いて学習できる子どもへの対応を整えることは、学ぶ側も教える側も求めています。

きめ細やかな対応ができるように、障がいだけに特化することなく、子どもの実情に合わせた人員配置や小学校30人学級を実現させたいと思います。



有害看板撤去とゴミ拾い



干潟の観察会

## 3 地域で子育てできる環境を整えたい

共働きやひとり親家庭がふえています。「子どもが病気の時、どうしよう？」安心して働くために、木更津市にも病後児保育の実施を求めます！

1. 子育て情報の整備

2. 教育環境の整備

3. 子育て環境の整備

## 4 限られている配食サービス

木更津市では食事の用意が困難な65歳以上の方に週2回昼食（250円）を配達するサービスがあります。しかし対象者が、年齢・家族構成等の条件によって、限られています。

高齢者や障がい者をサポートする視点から、利用条件を緩和するとともに、給食調理をボランティアに頼るばかりでなく、継続的に仕事として成立するようなくみを作ります。



事務所前で月1回市場を開催



## 5 孤独死させない

木更津市では、ひとり暮らし等の方に対し、緊急通報装置を貸与し、急病などの緊急事態に対するサービスがありますが、対象者は非常に限られています。

また、災害やもしもの時は、上記のシステムだけでは、迅速な対応は困難です。ひとり暮らしだけでなく、介助が必要な家庭を見守る地域ごとのシステムの有無を行政が点検・把握し、足りない部分をカバーすることで、市全体の防災対策を実現しながら、孤独死しない、させない街を作ります。



通所介護施設にて

## 6 生活に必要な交通の便

高齢になっても住みよい街にするには、生活に必要な買い物や通院のため交通の確保は欠かせません。他市で始まっている方法を研究し、より良い交通の確保を考えます。

また、民間の地域コミュニティバスの運営が、継続運営できるように要望します。



4. 高齢者・障がい者のサポート

5. 地域力の強化

6. 生活交通の確保